

令和6年度富山県高等学校 秋季大会
第77回全日本バレーボール高等学校選手権大会富山県予選会
バレーボール競技
実施要項

富山県高等学校体育連盟
バレーボール専門部
部長 中山正浩

- 主催 富山県高等学校体育連盟 富山県バレーボール協会
富山テレビ放送 産経新聞社 サンケイスポーツ
- 共催 富山県教育委員会 (公財) 富山県スポーツ協会
後援 富山市教育委員会 富山市バレーボール協会
砺波市教育委員会 砺波市バレーボール協会
- 主管 富山県高体連バレーボール専門部
1. 期 日 令和6年9月7日(土)・8日(日)・11月4日(祝)・23日(土)
2. 会 場 9月7日 男女 富山市総合体育館 男女 県総合体育センター
8日 男子 県西部体育センター 女子 富山市総合体育館
11月4日 男子 県西部体育センター 準々決勝・準決勝
女子 県総合体育センター 準々決勝・準決勝
23日 男女 県総合体育センター 決勝
3. 競技規則 令和6年度(公財)日本バレーボール協会6人制規則による。
4. 競技方法 トーナメント方式・3セットマッチとする。決勝戦のみ5セットマッチとする。
5. 参加資格 (1)富山県高等学校総合体育大会開催基準要項に準ずる。
(2)選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
(3)選手は令和6年度富山県高体連に加盟している生徒で令和6年度(公財)日本バレーボール協会・富山県バレーボール協会に有効に登録され、大会参加資格を得たものに限る。
(4)選手の年齢は、平成17年4月2日以降に生まれたものとする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同学年での出場は1回限りとする。
(5)チーム編成においては、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
(6)転校後の参加資格は、全国高校総体開催基準に準ずる。(外国人留学生もこれに準じる)
(7)選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
6. 参加制限 (1)チームは、監督・コーチ・マネージャー各1名、選手14名以内とする。但し選手登録は18名以内で試合ごとに14名の選手名を提出する。
(2)監督は校長及び学校長が認めた専任教職員(教頭・教諭・助手・常勤講師・非常勤講師)とする。また、校長から委嘱された部活動指導員も可とする。
(3)コーチは、当該校の教職員(登録の必要なし)または、学校長が認める18歳以上の者(ただし高等学校在学中は認めない)でコーチ登録をした者に限

る。コーチ登録は所定の申請書を高体連専門部へ提出したものとする。マネージャーは当該校の教職員または生徒とする。

(4) 監督・コーチ・マネージャーは、県協会倫理規定等に違反しているものは認めない。

(5) 外国人留学生の参加は1チーム2名までとし、コート内にはそのうちの1名とする。

7. 使用球 (公財)日本バレーボール協会公認人工皮革カラーボール

男子・・・ミカサV300W 女子・・・モルテンV5M5000

8. 参加申込 期 日 8月19(月) 必着(不参加の場合も送付ください)

宛 先 〒930-0855 富山市赤江町2-10

龍谷富山高校 長谷 弦 宛

Mail: hase.hajime@ryukokutoyama-h.ed.jp

※申込書とJVA個人登録チーム加入一覧をメールで送信する。正式の申込書は送付、もしくは抽選会当日に提出する。それ以降は受け付けません。

9. 参加料 1チーム 参加料 10,400円(手数料は各チームで負担)

振込先 北陸銀行小杉支店 普通 5042910

富山県高体連バレーボール専門部会計担当林香織

振込期間 8/1～8/16 厳守

10. 表彰 3位までを表彰

11. 代表者会議・ 期 日 令和6年8月22日(木) 14時30分～

組合せ抽選会 場 所 富山県総合体育センター 会議室

※ベスト8以上の2次抽選会は富山テレビ放送にて行う。日時は、決定次第連絡する。

12. 諸連絡 (1) 競技は1日目は9時30分、最終日は10時00分開始とする。

開館は8時00分とする。

(2) 選手変更等はチームの大会参加1日目に所定の用紙に記入の上、競技部へ提出するものとし、それ以後の変更は認めない。

(3) この大会の男女優勝校は、全日本高等学校バレーボール選手権大会への出場権を得る。

(4) 参加申込書に、審判資格を有するものを監督・コーチ・マネージャー(生徒は除く)に登録しなければならない(帯同審判員制)。登録しない場合は、参加資格がないものとし、参加を認めない。登録がありながら、試合当日に会場に来られない場合も参加資格がないものとし、参加を認めない。また、試合当日に何らかの理由があり会場に来られない場合は、大会当日の第1試合までに競技部に連絡すれば、この限りではない。

(5) 選手の競技中の傷病に対する応急処置(医者による経費は自己負担)は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。